

平成29年度寄附講座活動実績報告書

寄附講座名：リウマチ・関節機能制御学講座

所 属 長：久 保 俊 一

1 寄附講座の目的

超高齢社会を迎えたわが国において、関節リウマチや変形性関節症を代表とする関節疾患の治療体系の構築は、喫緊の課題となっている。本寄附講座では、関節リウマチや関節疾患の病因に関する基礎研究から、関節リウマチにおける疾患活動性に関連した蛋白の同定、MRIや超音波を用いた超早期診断や疾患活動性の評価、各関節の動的・静的障害のリアルタイムな評価、疾患修飾性抗リウマチ剤および生物学的製剤を用いた薬物療法のストラテジー確立、関節リウマチにおける手術療法の長期成績評価、合併症への迅速な対応、装具療法やリハビリテーションまでのトータルケアをめざし、多岐にわたって先進的な研究をおこなう。

2 報告年度に係る取組状況

基礎分野では、①ダイレクト・リプログラミング法で作成した骨芽細胞を用いた低侵襲的骨再生治療の開発②connexin 43 など、滑膜炎に関わる分子の関節リウマチにおける役割の解明③大腿骨頭壊死症の発症関連因子の解析、診断分野では①造影 MRI を用いた関節炎と関節破壊の予後予測法確立②関節リウマチにおける病勢評価に関わる分子の解明③関節リウマチにおける疾患活動性に関連した蛋白の同定、治療分野では①疾患修飾性抗リウマチ剤および生物学的製剤を用いた薬物療法のストラテジー確立②関節リウマチにおける手術療法の長期成績評価③関節リウマチにおける早期リハビリテーションおよび装具療法による関節破壊抑制などを中心に研究に取り組んできた。これらの研究成果について論文作成および学会発表を行ってきた。また、関節リウマチと変形性関節症に関する教科書の作成や、講演を通じて、若手教育に力を入れて取り組んだ。

3 報告年度における著書, 論文, 学会発表, 講演, 研究助成等の実績

[I] 原著

1. Efficacy of abatacept in patients with rheumatoid arthritis, as assessed by magnetic resonance imaging of bilateral hands. Kukida Y, Kasahara A, Seno T, Inoue T, Sagawa R, Kida T, Nakabayashi A, Nagahara H, Murakami K, Sugitani T, Morita S, Ito H, Oda R, Fujiwara H, Kohno M, Kawahito Y. Int J Rheum Dis. Epub ahead of print. 2017.
2. Establishing a Calculation Method for Estimating the Normal Circumference of the Proximal Interphalangeal Finger Joints. Nakamura S, Tokunaga D, Oda R, Taniguchi D, Toyama S, Asada M, Fujiwara H, Kawahito Y, Seno T, Kubo T. Open Journal of Rheumatology and Autoimmune Diseases. 7. 186-195. 2017.
3. Recurrence of deformity after silicone implant and resection arthroplasty of the metatarsophalangeal joint for rheumatoid arthritis: long-term results. Taniguchi D, Oda R, Ikoma K, Toyama S, Takatori R, Imai K, Hara Y, Sawada K, Fujiwara H, Tokunaga D, Fujiwara H, Kubo T. Mod Rheumatol. 27. 266-270. 2017.
4. Subperiosteal inflammatory pseudotumor mimicking primary malignant bone tumor: A case report. Terauchi R, Shirai T, Mizoshiri N, Konishi E, Ueshima K, Fujiwara H, Kubo T. Mod Rheumatol. 27. 369-371. 2017.
5. Changes in Basic Movement Ability and Activities of Daily Living After Hip Fractures: Correlation Between Basic Movement Scale and Motor-Functional Independence Measure Scores. Toyama S, Sawada K, Ueshima K, Mikami Y, Mori I, Takamuku K, Takahashi T, Kubo T. Am J Phys Med Rehabil. Epub ahead of print. 2017.
6. New quantitative ultrasound techniques for bone analysis at the distal radius in hip fracture cases: differences between femoral neck and trochanteric fractures. Horii M, Fujiwara H, Sakai R, Sawada K, Mikami Y, Toyama S, Ozaki E, Kuriyama N, Kurokawa M, Kubo T. Clin Cases Miner Bone Metab. 14. 23-27. 2017.

[Ⅱ] 学会発表

1. Progressive Alteration And Lesion Patterning Of Ulnar Deviation In Rheumatoid Arthritis; 10-Year Cohort. Toyama S, Oda R, Taniguchi D, Tsuchida S, Ikeda R, Fujiwara H, Kubo T. 18th European Federation of National federations of Orthopaedics and Traumatology (EFORT) 2017, Vienna, Austria, 2017.
2. Simple Method Of Functional Evaluation For Rheumatoid Hand Using Nalebuff Classification. Toyama S, Oda R, Tokunaga D, Taniguchi D, Asada M, Ikeda R, Fujiwara H, Kubo T. 18th European Federation of National federations of Orthopaedics and Traumatology (EFORT) 2017, Vienna, Austria, 2017.
3. リウマチ母指変形における関節温存手術. 小田 良, 遠山将吾, 小原将人, 藤原浩芳, 久保俊一. 第60回日本手外科学会学術集会, 名古屋, 2017.
4. リウマチ手新時代の手術療法. 小田 良, 遠山将吾, 谷口大吾, 小原将人, 徳永大作, 新井祐志, 藤原浩芳, 久保俊一. 第45回日本関節病学会, 東京, 2017.
5. 関節リウマチ手指変形のクラスター解析を用いた包括的評価の試み. 遠山将吾, 小田 良, 徳永大作, 谷口大吾, 池田亮介, 妹尾高宏, 川人 豊, 生駒和也, 藤原浩芳, 久保俊一. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2017.
6. トシリズマブ使用における関節リウマチ新規疾患活動性バイオマーカー. 妹尾高宏, 河野正孝, 佐川里紗, 笠原亜希子, 祖父江秀晃, 井上拓也, 木田 節, 中林 周, 荃田祐司, 藤岡数記, 永原秀剛, 小田 良, 久保俊一, 川人 豊. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2017.
7. ビスフォスフォネート効果不十分なステロイド性骨粗鬆症における週1回投与テリパラチドからデノスマブスイッチ後の治療成績. 妹尾高宏, 木田 節, 北川裕子, 祖父江秀晃, 井上拓也, 笠原亜希子, 佐川里紗, 金下峻也, 藤岡数記, 和田 誠, 小田 良, 久保俊一, 河野正孝, 川人 豊. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2017.
8. 膠原病における新規抗C型肝炎ウイルス療法の有用性についての検討. 木田 節, 北川裕子, 祖父江秀晃, 井上拓也, 笠原亜希子, 金下峻也, 佐川里紗, 中林 周, 荃田祐司, 藤岡数記, 永原秀剛, 妹尾高宏, 和田 誠, 小田 良, 久保俊一, 河野

正孝, 川人 豊. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2017.

9. RAによる伸筋腱脱臼に対する新しい術式の検討. 小田 良, 遠山将吾, 谷口大吾, 生駒和也, 徳永大作, 藤原浩芳, 久保俊一. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2017.
10. 関節リウマチの第2-5趾変形に対する単純X線立位斜位像の有用性. 谷口大吾, 小田良, 生駒和也, 徳永大作, 遠山将吾. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2017.

[Ⅲ] その他（講演，テレビ，ラジオ研修会）

1. 小田 良 リウマチ手治療の最前線 第3回鶴桜セミナー 名古屋, 2017.
2. 山崎隆仁 RA 治療～BIO 製剤の特徴～ リウマチケア・チーム カンファレンス 京都 京都市 2017.

[Ⅳ] 研究助成

1. 久保俊一 特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者の QOL 向上に関する大規模多施設研究 厚生労働省科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業））
2. 久保俊一 ips細胞に対してバイオリアクターを用いた新しい硝子様軟骨再生法の開発 文部科学省科学研究費基盤B
3. 久保俊一 HIF-1 α をターゲットとした新しいOA治療法の開発 文部科学省科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
4. 谷口大吾 ダイレクト・リプログラミング法で作成した骨芽細胞を用いた低侵襲的骨再生治療の開発 日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(C)
5. 土田真嗣 connexin43を分子標的とした関節リウマチに対する創薬基盤の構築 文部科学省科学研究費挑戦的萌芽研究